

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
日本経済論 (Japanese economy)	必	重松正史	4 年生 物質工学科	1	半期 週 1 時間							
授業概要	日本経済の現状を世界経済との関わりで考える											
到達目標	1 日本の製造業の概況を説明できる 2 日本の雇用の現状と問題点の概況を説明できる 3 日本の社会保障と財政について、その現状と問題点の概況を説明できる											
評価方法	定期試験（2回）75%、課題25%											
教科書等	毎回プリントを配付する											
内 容					学習・教育目標							
第 1 週	「カネあまり」・資源・技術（3年生の「政治・経済」の復習とその後の経済の動き）				A							
第 2 週	長引く不況・デフレ 日本経済の概況				A							
第 3 週	消費の現状				A							
第 4 週	物作り企業の現況（自動車・電機など）				A							
第 5 週	中小企業について（日本の中小企業の現状）				A							
第 6 週	労働力の国際移動と非正規雇用 雇用と労働				A							
第 7 週	トヨタ生産方式とその限界				A							
第 8 週	日本の労働時間				A							
第 9 週	会社組織のあり方				A							
第10週	就職情報を読む				A							
第11週	無縁社会日本 セーフティーネット				A							
第12週	福祉・社会保障の危機				A							
第13週	税金・年金・健康保険の基本的なしくみ				A							
第14週	財政危機の現状				A							
第15週	世界経済・日本経済の今後				A							
第16週												
第17週												
第18週												
第19週												
第20週												
第21週												
第22週												
第23週												
第24週												
第25週												
第26週												
第27週												
第28週												
第29週												
第30週												
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。）

[ガイダンス]

第1週

- ①3年生での経済についての学習を振り返る。
- ②3年生での授業時以降の経済的重要事件について、概観する

第2週～第5週

- ①消費の観点から、日本経済の現状を概観する
- ②もの作りの現状について、具体例を取り上げながら、日本企業の現況を知る
- ③もの作りをする中小企業の実例を取り上げ、中小企業の役割を考える

第6週～第10週

- ①労働力の国際移動と非正規雇用の増大の関連を知る
- ②トヨタ生産方式について、基本的な考え方を知る。
- ③労働時間という観点から日本人の労働のあり方について考える
- ④就職情報をどう読むかを実例を見ながら考える

第11週～第14週

- ①日本の財政と社会保障について、その概況を知る
- ②「セーフティーネット」についてその基本的な考え方を知る
- ③日本の社会保障のあり方について、問題点と課題を考える
- ④財政の危機的状態について、その問題点を知る

第15週

- 3・4年生での経済の学習全体を振り返り、まとめをする